

加賀 かなが ななえ

会派 草の根

市政ニュースvol.53

8月21日
市民に一番
身近な政治家



連絡先とSNS

お気軽にご連絡ください。



市政の透明性を高めるために、SNSでの活動報告を毎日更新しております。X・Instagramの投稿をぜひご覧ください。

市民の皆様からのご相談や要望は、電話またはメールでお受けしております。

ご意見やご質問がございましたら、ぜひお気軽にお寄せください。みなさまからのご連絡を心からお待ちしております。

X

@Nanaekaga



Instagram

@nanae.kaga



加賀奈々恵プロフィール

富士見市議会議員・1991年5月19日生・33歳・AB型
ふじみ野市生まれ。小中学校は不登校。高校中退後、高な高等学校卒業程度認定試験(大検)を取得し、明治大学政治経済学部を卒業。卒業後、針ヶ谷保育園、上福し岡障害者支援センター21に勤務。2016年に富士見市議会議員補欠選挙に初当選し、現在3期目を務めています。
不登校経験から多様な学びの実現が公約



これまでの取組

不登校編

多様な学びの確保

議会の一般質問を
通じて実現したこと

職員の皆様のご尽力があ
ってのものです！



03

多様な学びの場の確保

- 居場所を増やす取組

市内各公共施設で「出張あすなろ」を開催するようになった。

- 教育相談室と教育支援センターの移転

南畑の特別支援学校内からふじみ野小学校へ移転し、駅近で通いやすくなった。さらに今後の移転も検討中。



01

学校に行かない・行けない子どもへの理解の変化

- 適応指導教室の名称を「教育支援センター」へ変更

→ 子どもたちの学びを支援する場としての認識を広げるため。

- 教育行政方針の変化

→ 「不登校児童生徒の解消」から、「特性や願いに寄り添い、社会的自立を目指す」記述に。具体的取組も実施。



02

子どもの健康を守る

・ 定期健康診断を欠席した子どもが、健康増進センターで別日に再受診可能に（令和6年度より）

→ 不登校の子どもも健康診断を受診できる機会が確保されるようになった。



その他、議会で取り上げたこと（教育関係）

- タブレット端末の活用
- 給食センターにおいて不登校児童生徒への給食提供
- 校内フリースクールの設置
- ふれあい相談員の小学校の常駐
- 中学校における教育相談室の1時間利用時間制限撤廃

